

木場潟公園の令和2年度管理状況

様式3

施設所管課	土木部公園緑地課
施設管理者	公益財団法人 木場潟公園協会
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
中期経営目標 (H30～R4)	①利用者数を5年間で5%以上増加させます。 ②利用者アンケートによる満足度95%以上を目指します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・ 利用促進	①公園内の話題、規制や、アンケート、メールでの留意すべき情報は全職員が共有し、共通認識に立って対応、接遇に努めた。 ②自動販売機の公募型設置の実施により、収益事業の増収改善ができサービス向上のための施設修繕やホームページ更新などに充当することができた。 ③西園地ライトアップでは来園者の声を受けて野外BGMを設置し好評を得た。 ④小松市SDGsの環境シンボルとして公立小松大学の現地授業を受入れた。全国から集う学生らが木場潟公園の学びと体験を毎年継続することで、利用やPRにつながる取り組みができた。
② 広報活動	①あたらしくホームページを制作し、動画や画像など視覚的な情報提供の充実と、わかり易さ、利便性及び検索性を向上した。スマートフォンでも画面がわかり易く再構成されて表示され、公開以降毎月約6万件の検索数がある。来園者から口コミや画像が拡散されていることも確認でき、PRにつながっている。 ②四季の希少な植物情報は、つねにメディアに提供し、新聞テレビの取材が県民の情報源となって年配層の来園を増やした。 ③木場潟を通じた多くの環境団体と連携した環境保全活動や環境教育活動を推進した。

(2) 令和3年度における取組内容の見直し等

	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ更新で増えている来園者の声を受け、取組みをのを見直しを検討し、改善に資する。 ・ コロナ禍の経験を経て、イベント等のこれまでのあり方を見直す機会としていく。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H26～28 年度 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度	前年度比	基準値比	R4年度 (目標値)
(1) 利用者数 (人)	708,058	758,544	786,595	749,951	95.3%	105.9%	745,000
(2) 貸館稼働率(%)							
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス(%)	94.7	98.0	98.0	99.0	1.0 _対	4.30 _対	95.0
施設の維持管理(%)	94.5	95.0	96.0	99.0	3.0 _対	4.50 _対	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ほとんどの自主事業(イベント)が開催中止になったことによる減少。	①コロナ禍ではあったが、健康や憩いの場所として多くの利用者が訪れたこと。 ②オリンピックやパラリンピックに向け木場潟カヌー競技場で行われる日本選手権や学生カヌー選手権の開催。また日本代表選手の合宿等による利用者の増加。
貸館稼働率		

<利用者アンケート結果(令和2年4月～令和3年3月実施 有効回答数154件)>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス(%)	31.0	68.0	1.0	0.0
施設の維持管理(%)	39.0	60.0	1.0	0.0

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	毎日
(2) 設備保守点検	遊具・・・日々点検、定期点検9月に実施 その他の施設・・・専門業者に委託 そのほかは、公園協会職員による点検
(3) 植栽維持管理	樹木、芝、園地についてその一部を専門(造園)業者に委託
(4) 警備	園内巡回
(5) 小規模修繕	老朽化施設、浄化槽設備修繕、備品の更新、湿原の森木道補修、湖上園路床板の補修、枯損木の伐採

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	①緊急時の連絡体制の確認 ②消火器等設備の設置場所の再確認 ③AEDの取扱要領の再確認
(2) 個人情報の管理状況	個人情報の取扱いについて、事務局長が責任者となり年度当初及び中間期に職員に対し周知徹底している。

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
貸しボート	154		
シャワー	4		
合計	158	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
貸しボート	40.0	8	9/26 小松市主催こまつ乗りものフェスティバル 154件(隻)のうち26件(隻)無料貸出しを含む。
シャワー	0.4		
合計	40.4	8	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	52,350	人件費	16,552
利用料収入	40	光熱水費	3,737
その他	18,522	修繕費	6,054
		緑地管理費	32,807
		その他	11,762
合 計 ①	70,912	合 計 ②	70,912
収支差額 ①-②	0		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和2年4月	ウオーキングやランニングをしている人がマスクをしていない。公園として指導してほしい。	園路の看板の設置、園内放送、巡回車両による呼びかけ実施(4月~5月)
令和2年7月	野鳥に餌付けをしている人がいる。襲われたことがあるので注意してほしい	餌付けをしないように注意した(7/2)
令和2年7月	北園地休憩所でタバコを吸っている人がいるため注意してほしい。	喫煙者に対して受動喫煙について説明し休憩所内では喫煙しないように注意。休憩所周辺に禁煙の看板を設置(7/29)
令和2年8月	湖上園路の床板に穴が開いている。修理してほしい。	床板の穴補修(8/9)
令和2年10月	園内ボランティア作業の車がスピードを出しすぎて危ない。	園内は歩行者優先を再確認し、スピードの抑制注意と作業車に鈴を設置をした。(10/11)

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
該当なし		

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境の保護と共に、他機関と潟を活用し、利用促進を図っている。 ・ 公園の話題を報道機関に提供するのに加え、季節ごとの公園の魅力をSNSを有効に活用し、利用者へ情報発信を図っている。 ・ 新たにスマートフォンなどに対応したホームページを作成し、動画や画像による視覚的な情報発信や、操作性・利便性の向上を図るなど、利用者増に向けた取組を行っている。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修繕・除草・除雪等において仕様書の範疇を超えて維持管理運営をしている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ シルバー人材センターを活用し、人件費の削減に努力している。 ・ 多くの環境団体と協力して環境保全、環境教育を実施するなど、他機関との連携が図られている。
総合評価	A	ホームページのリニューアルなど、積極的な情報発信の実施、経費の節減や修繕を行い、コロナ禍においても多くの利用や満足度の向上につなげている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項